

Be ambitious!

2021. 2. 27 (土) 発行

兵庫県立有馬高等学校 第73回生 3学年通信 第8(最終)号

学習活動発表会(1/30[土])

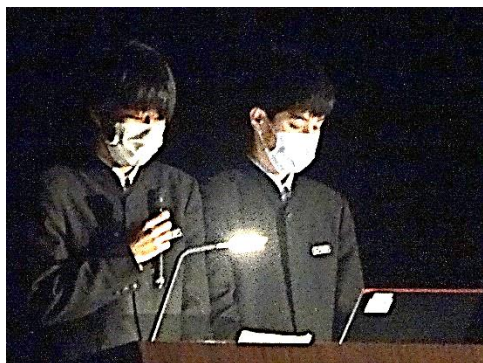
3年生は、昨年12月中頃の課題研究発表会で選ばれた代表者などが、体育館で行われた学習活動発表会に臨みました。

会が土曜日に設定されているため、例年なら中学生をはじめ、多くの聴衆を前にして発表にも張りが出るにちがいないと推察しました。しかし、1年近く経過しても新型コロナウイルスの影響による状況が厳しく、「緊急事態宣言」が発令された中での開催になりました。制約の多い中ではありましたが、開催できたことはなによりです。

発表に参加した人、お疲れさまでした。



↑総合学科 特色ある授業(ダンスの選択者)



↑人と自然科 課題研究～有馬の屯田兵・放置竹林から始まるソバ作り～



総合学科 課題研究・各講座ポスター

課題研究は短い期間の取り組みになってしまいましたが、みんなお疲れさま。

卒業、おめでとう(2/27[土])

いよいよこの日が来ました。もっと先のことだと思っていましたが、あっという間にその日は訪れるものです。お祝いのことばは育友会が発行している「育友会報」にも掲載していますが、改めて学年団の先生方からメッセージをいただきました。

自信と誇り

学年主任 松原 未来

18年前この世に生まれ、ニコッと笑って褒められ、立った、歩いた、しゃべった、みんなが何かをするたび、家族みんなが喜んでくれました。大きくなるにつれ、早くしなさいと怒られ、しっかりしろと励まされ、そうして大きくなるにつれ、遂に褒められるどころか叱ってもくれない…そんなこともあったかもしれません。「自分の人生、どう生きようと勝手だろ!」と叫んだこともあったでしょう。けど・・・ちょっと素直になってください!たとえ褒めてくれなくても、みんなの家族や学校の先生は、みんなのことを心配し応援しています!

「たとえ傷ついても、自分の力で立ち上がれるように」

「他人がつけた100点満点ではなく、自分がつけた70点に自信と誇りが持てるように」

多くの愛情に包まれ、ここまで成長した皆さんに、心を込めて卒業おめでとう!

1組担任 梶並 栄仁

73回生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんはもうすぐ大人として、社会に足を踏み入れることになります。今、社会では多様性を重視することが叫ばれています。そのことを考えると、有馬高校で過ごした3年間は、とても意味のあるものになったはずです。人と自然科と総合学科、どちらも多様性を学ぶにはうってつけの学科でした。僕の視点からは、そう見えています。皆さんの視点からは、どのように見えていますか?

知っての通り、社会は今、大きな課題を抱えています。皆さんはこれから、その課題を解決する立場となります。有馬高校で学んだことを、課題解決に活かしてもらえたら、こんなに嬉しいことはないです。応援しています。

学年副主任・2組担任 平井 なおみ

73回生のみなさん卒業おめでとうございます。

卒業…学校の全課程を学び終えること。ある段階や時期を通り過ぎること(国語辞典より)だそうです。この3年間を乗り越えたことに自信を持って次のステージへ羽ばたいてください。今ある状況に向き合って取り組める力があれば、どこへ行っても、どんな状況になっても、自分を見失わずに進んでいけると思います。向き合うということは、「戦え」ではなく「考えろ」だと私は思います。悩んだり、誰かに相談したり、時には休憩したり。その結果行動することでいろんな世界が広がります。ぜひぜひ、いろんな広い世界を自由に飛びまわってください。みんなの活躍と無事を心から願っています。

3組担任 分元 美智子

卒業おめでとうございます。

73回生の皆さんとは、2年間のお付き合いでしたが、昨年度転任してきた私を温かく迎え入れてくれたこと(これは生徒の皆さんも学年の先生方も同じです!)に感謝しています。

皆さんも4月から新たな場所でのスタートを切ります。様々な思いや緊張もあることでしょう。何かあれば、周りの人が支えてくれるはずですし、時には皆さんが手を差し伸べる存在になれると良いですね。きっと皆さんならそれができると思います。私にしてくれたように…。

有馬高校での3年間で培った力を大切に、更なる飛躍を期待しています!

4組担任 丸田 千佳

73回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
今年は「渋沢栄一」がブームになりそうですが、彼は「仕事を趣味に」という考えで生活していました。これは、仕事の他に何か楽しみをもつということではなく、「この仕事はこうしてみよう」「こうすればこうなるだろう」と考え、仕事に理想や欲望を加えていくという意味です。そういう生き方をした結果、仕事でも勉強でも楽しむ境地にまで達すれば本物となり、これが趣味の極致になると説いています。皆さんも、何か一つを楽しみながら、本気になって、やり通してみてください。そのあとには新しい世界が広がっていると、私は確信しています。

私は皆さんと出会い、共に過ごした思い出を胸に、

M: Mellow (円満に人々と交際し)

A: Affectionate (愛情深く)

R: Respectful (敬意を払い)

U: Uplifting (ノリがよく)

T: Trusting (人を信頼し)

A: Agreeable (心地よい)

人を目指して生きていきます！

皆さんの名前にも素敵なことばが隠れていると思います。自分を大切に、周りのひとに感謝しながら……。3年間、本当にありがとうございました。(◡◡)

5組担任 山下 悼也

春、卒業生の皆さんはそれぞれの道へと進み、仕事を覚え、技術を身につけ、専門的な学びを深めていくことでしょう。人が道を極めようとすることは、自分自身にとっても、世の中にとっても、とても価値あることです。ただ同時に、広い視野を持つ人になる努力も、忘れないでいて欲しい。より良い「選択」ができるように。様々な事に興味を持ち、調べる、確かめる。その方法を、皆さんは有馬高校で身につけたはずです。〈知は力なり〉幸せな人生を歩まれることを願っています。



6組担任 金澤 善

卒業に際しては、育友会会報に書いたもので、今回は今この文章を書いている2月22日にちなんで、73回生とネコの思い出話をしたいと思います。あれは2年前の朝7時20分頃、数学の朝補習のために登校してきた2人の女子生徒さんが「先生」と声をかけてきました。内容は、有高の前の道で子猫が亡くなっているのではどうにかできないかというものでした。私は聞いた瞬間、「見て見ぬふりを…」と思ったのですが、生徒さんは「三田小学校の子たちが見て、悲しむ。また触ったりして、感染症とか心配。」と言うのです。こんな私でもその思いやりに動かされ、子猫を埋葬し供養することが出来ました。ニャン、ニャン、ニャン♪卒業おめでとう！

7組担任 中嶋 明子

枕草子に「ただ過ぎに過ぐるもの、帆かけたる舟。人の齡。春、夏、秋、冬」という部分がありますが、まさに風を負う舟のように時は過ぎて、あっという間に春は目前。三年間、73回生のみなさんと駆け抜けた目まぐるしい日々でした。たくさんの場面で、みなさんの朗らかな笑顔、優しい言葉に救われました。本当にありがとう！コロナ禍での就活や受験を乗り越えたみなさんだからこそ築ける未来があるはずです。みなさんの進路に幸多からんことを祈ります。

〔蛇足〕個人的には、「児島先生」と呼んでくれる最後の学年との別れ、という意味でも切ないです。(笑) また、どこかで出会ったら声をかけてくださいね！児島でも、中嶋でも振り向きます！

そして、これまで学年団でお世話になった先生方からもメッセージが届きました。

73回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。
皆さんとは、1年生の時に1-Dの担任として一年間過ごさせて頂きました。4月のオリエンテーション合宿の時の、初々しい姿が昨日のここのように思い出されます。昨年の9月に久しぶりに皆さんの姿を見ることができて、皆さんの成長と、一方で変わらない（磨きがかかった？）個性に出会うことができ、とても嬉しかったです。

そんな皆さんが、ついに卒業を迎えるのですね。人は違う環境に立った時、苦勞もあるかもしれませんが、最も成長するのではないのでしょうか。これまでの3年間で、知らず知らずのうちにきっと身に付けたものがあります。それを「試すとき」は、今ここからです。不安もあると思いますが、きっと大丈夫。焦らずに、じっくり楽しんでいきましょう。

杉山正人

73回生の皆さん、卒業おめでとうございます。1年次の1学期だけしか一緒に過ごせませんでしたが、こうやって3年次に再び出会い、卒業生として見送ることができとても嬉しく思います。入学式、オリ合宿、有高祭、もちろん授業を通してみんなの初々しい姿と過ごさせてもらった1学期でした。そして今年、休業明け6月に見たみんなの2年ぶりの姿に、「人はこんなに変わるのか！（良い意味でも、悪い意味でも）」と驚かされました。きっと精神面も逞しくなっているのでしょう…（期待）

みんなはこれから人生の新しいステージに立ちます。そして若い。たった18歳！これからどうにでもなります。なりたい自分になれるよう希望をもって努力し続けてください。

Be ambitious!

峯 聖二（1年次副担任）

ご卒業おめでとうございます。昨年度の一年間はとくにみっちり充実した時間をみなさんと共にし、私の大好きな沖縄への修学旅行をご一緒できたことは、楽しく大切な思い出です。学年の日の京都のころからすると現在のみなさんは、困難を乗り越えて、すっかり大人になられたな、私も成長しなければと思わせてくれる頼もしい存在です。これから広い世界へはばたいて行かれるみなさんのご活躍、たくさん吉報をお待ちしております。元気な顔を見せに来てくださいね。

三枝 祥子（2年次副担任）

飽くなき挑戦

卒業おめでとう。ここをひとつの区切りとして、それぞれの道を歩む君たちに言っておきたい。それは「挑戦をやめるな」です。困難をすぐに避ける傾向が多い中、あえて果敢に挑むことは、一筋の光をつかむ可能性を大いに秘めています。

やがて誰もが「自分の仕事」で世の中に貢献するようになりますが、面白い発想で社会を潤してください。知識と技術力を備えた、人に愛される人になってください。

谷口 春夫（3年次副担任）

保護者の皆様へ

本日は、お子様のご卒業おめでとうございます。

73回生・235名全員がこの日を迎えることができましたのも、保護者の皆様方のご協力があったことでした。改めて学年団一同お礼申し上げます。

事後報告になりますが、先日の登校日（2/19【金】）に学年集会と称し、3年生へサプライズ的なイベントを行っています。行事が悉く中止となった今年の3年生に楽しい機会を…と、育友会役員の方々が企画してくださり、「XTRAP」というダンスパフォーマンスグループによる公演が実現しました。1時間の中では簡単なフィンガーダンスのレクチャーもあり、短い時間でしたが生徒たちもいい顔をしていました。役員の皆様、ありがとうございました。

それでは、学年通信を終わります。3年間、ありがとうございました。

